

第2回 材料技術講座「現場で役立つ！ コロイド・界面現象の測定ノウハウ」開催のご案内

<講座の狙い>

○コロイド・界面現象の解明に役立つ実験情報を、最先端の機器を用いて獲得することを通して、実務に役立つ界面活性剤スキルを養って頂く。

○実際に測定するところを見ることにより、知識・スキルが身についたものになる。

○企業の新入社員の方から、入社数年の若い研究者や技術者に適します。

<概要>

主催：材料技術研究協会

共催：東京理科大学・研究推進機構・総合研究院・阿部正彦研究室

開催日：2018年（平成30年）2月26日〔月〕～27日〔火〕（2日間）

時間：10：00～17：00 午前中講義（2テーマ）、午後実習（午前中に実施したテーマ）

会場：東京理科大学 野田キャンパス 10号館および11号館 [〒278-8510 千葉県野田市山崎 2641

最寄駅：東武野田線（アーバンパークライン）運河駅 下車徒歩約10分]

テキスト：『現場で役立つ コロイド・界面現象の測定ノウハウ』（テキスト代は参加費に含まれます）

募集定員：12名

参加費：会員 20,000円 会員外 30,000円 協賛学協会会員割引 24,000円

修了証：参加者に発行する。

連絡先・申込先〔講座事務局〕：清宮章（東京理科大学・阿部正彦研究室）kiyomiyazaigi@gmail.com

（c.c. zaigi.jimukyoku@gmail.com）

【2018年2月26日（月）のテーマ】

1. 界面活性剤希薄溶液の物性（表面張力測定、QCM-D測定、AFM測定）

講師（実験指導含む） 酒井健一氏（東京理科大学・先端化学科）

2. 動的光散乱測定、ゼータ電位測定、小角X線散乱測定

講師（実験指導含む） 鳥越幹二郎氏（東京理科大学・客員教授）、赤松允顕氏（東京理科大学・先端化学科）

【2018年2月27日（火）のテーマ】

3. 電子顕微鏡測定（ミセル、リポソーム、エマルションなど）

講師（実験指導含む） 土屋好司氏（東京理科大学・総合研究院）

4. レオロジー測定（非ニュートン流体の流動曲線など）

講師（実験指導含む） 山縣義文氏（東京理科大学・客員教授、ライオン(株)）

【特別講義】

I. 界面活性剤概論

講師 阿部正彦氏（東京理科大学・総合研究院）

II. エマルションの科学

講師 坂本一民氏（東京理科大学・客員教授）

【質問タイム】

両日とも、17：00の実習終了後、フリーな質問タイムを設け、当日の講師が対応する。参加は任意。

<詳細および申込はこちらから>

URL：<http://www.rs.tus.ac.jp/abemasa3/home.html>、<http://www.zaigi.org/> 以上[2017.10.27]